

平成30年度事業実施状況(平成31.2.28 現在)

		参加者数 ()は外国人数	国・地域	連携等
取組1	テーマでつながる日本語クラス	2期実施 6/15-6/29、 10/16-10/30	アフガニスタン、イギリス、イラン、 インドネシア、韓国、スリランカ、タイ、 中国、ドバイ、フィリピン、ベトナム、 ミャンマー、モンゴル、ロシア、台湾、 日本	千葉市健康支援課
	日本語活動ペア実践講座	7期実施 5/28、6/9、7/25、8/28、 9/28、10/29、12/13		
	初級クラス	2期実施 5/17-7/26、1/10-3/14		
	読み書きクラス	3期実施 9/12-10/10、 11/22-12/20、1/16-2/13		
取組2	日本語交流員 新基本講座 基礎編	4期実施 5/22-6/5、9/13-9/27、 11/7-11/21、2/9-2/23	中国、日本	157人(1人)
	日本語交流員 新基本講座 実践編	4期実施 6/12-6/19、 10/4-10/11、 11/28-12/5、3/2-3/9		
	東京オリンピック・パラリンピックで 外国人と日本語で話そう	2期実施 7/4、1/29		
	クラス支援者研修	3期実施 6/22、6/28、9/19		
取組3	多文化理解セミナー	6期実施 6/8、7/6、10/9、10/13、 11/24、12/4	イラン、インド、インドネシア、エジプト、 エルサルバドル、韓国、キューバ、 スリランカ、タイ、中国、チリ、日本、 フィリピン、フランス、ベトナム、マレーシ ア、メキシコ、モンゴル、ロシア	千葉市子育て支援館 NPO法人多文化フリースクールちば 稲毛土曜にほんご学級 センシティ土曜にほんご学級
	外国人市民町内会活動参加推進 多文化防災についての説明 聞き取り調査	7月～8月実施	3箇所	千葉市中央区役所地域振興課、中央区町内自治 会連絡協議会理事会、院内小学校区避難所運営 委員会、千葉イスラム文化センター
	企業に対する日本語教育啓発 アンケートと聞き取り調査	8月～11月実施		市内企業

あなたも仲間に

千葉市に住む
外国の人と

日本語で交流!



インターネットで活動を紹介しています

ちば多文化協働プロジェクト



<https://www.facebook.com/chibatabunka26>

投稿 取組の予告、報告、目的・内容・参加者の声

動画 スピーチ・ミニドラマ・防犯パトロールの様子など

写真 クラスや講座の様子

取組の予定は協会窓口でもご案内しています。

参加、見学、大歓迎！下記までお問い合わせください。



公益財団法人千葉市国際交流協会

平成30年4月に移転しました

〒260-0026

千葉市中央区千葉港2番1号

千葉中央コミュニティセンター2階

TEL 043-245-5750



ちば多文化協働プロジェクト お問い合わせ chibatabunka@ccia-chiba.or.jp

現在、千葉市民の38人に1人は外国人住民です。地域のグローバル化により、職場・学校・ご近所で、外国人市民とともにあるのが日常になりました。千葉市役所でも平成29年12月に「千葉市多文化共生のまちづくり推進指針」が策定されています。多様な人々が共に生きる社会をめざすには、ひとりひとりの文化に耳を傾けあう対話が欠かせません。

でも

「日本語で自己表現する自信がない…」

「外国人と話すきっかけがない…」という声も。

「ちば多文化協働プロジェクト」は、多様な市民の相互理解、および外国人市民の日本語習得を目的とする事業です。文化庁の委託を受け、千葉市国際交流協会が平成26年度から参加者と協働で発展させてきました。自分を表現したり他の人を理解したりしながら、地域のよりよい姿を共に描いていくことをめざしています。

あなたも参加してみませんか？

平成30年度の取組をご紹介します。

(公財) 千葉市国際交流協会



日本語クラス

このプロジェクトの日本語クラスは市民参加の対話型です。身近な話題でお互いが話します。

外国人市民にとっては、クラス活動が日本語習得の過程になり、日本人市民にとっては異なる価値観に触れたり、日本語を母語としない市民との、よりよいコミュニケーションのとり方を考える機会となりました。



テーマでつながる日本語クラス

「健康」「学校」のテーマで日本語学習をしました。専門家の話を聞いたり、自分の考えや経験をスピーチしたり、ミニドラマを作ったりしたほか、地域の参加者とテーマに関するグループ活動をしたりしました。スピーチの様子などはインターネットで公開しています（見かたは裏ページをご覧ください）

日本語活動ペア実践講座

普段は1対1で学習活動をしている日本語交流員と外国人参加者のペア。このクラスでは合同で活動しました。その日のテーマでお互いの経験や考えを話しながら、双方が伝わりやすいコミュニケーションについて考えました。



話すとき、よく止まってしまったがグループの人が助けてくれた。

日本語で話すのがだんだん上手になると思います。

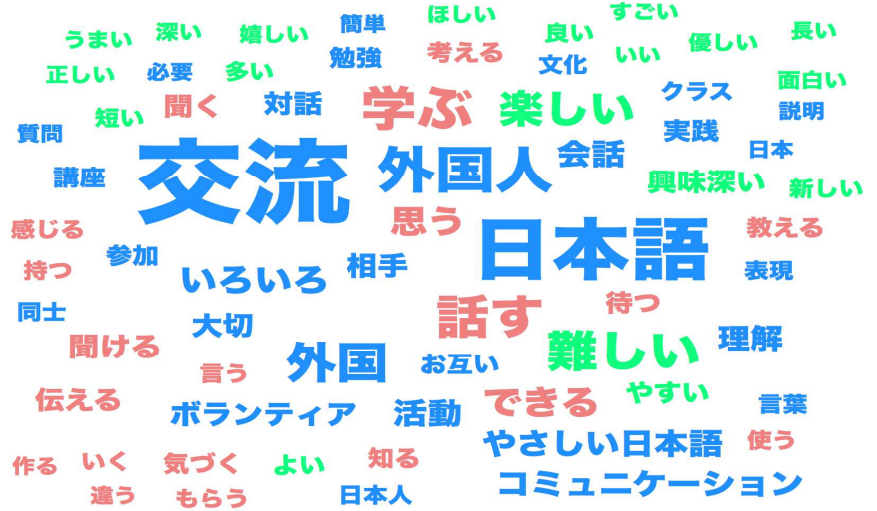
居心地が良かった。日本語の勉強とはどういうものかについてイメージを持つのに役立った。

新しい単語や表現学び、異なる文化やマナーについても知ることができた。

会話、日常用語のリスニング力がアップした気がする。

外国人参加者がリラックスした雰囲気の中で健康について自己表現できた。

どのくらいの難易度の単語を使ってどう説明するか、他の交流員の会話を聞いてとても勉強になった。



参加者アンケートから見えるキーワード

読み書きクラス

主に、会話はできるが、読み書きが苦手、という方が学びました。かなや漢字を協働で学んだり、絵本を作って読みあたりました。



時間が短く感じるくらい楽しく参加させてもらえた。

こういう感じでコミュニケーションをとるのだとわかった。

初級クラス

「わたしの1日」などのトピックで話している人の音声を聞きながら日本語の基礎的な文法・文型を学びました。同じトピックで自分のことを話したりエッセイを書いたりできるようになりました。1人1人の話やエッセイが協働学習の生きた素材になっていました。



多文化理解セミナー

多様な言語・文化を背景に持つ市民が協働・交流を通じてお互いを理解するため、セミナーを実施しました。外国人市民と日本人市民が気軽に楽しく話を聴きあえる時間を多く設けました。

外国出身パパママによる絵本の読み聞かせと子育て交流

エジプト、マレーシア、ロシア、イランなど10か国の出身者による、多言語での絵本読み聞かせ。普段聞いたことのないことばで絵本を楽しみ、また、子育てや生活の話題で交流しました。

中南米の料理をつくってみよう

エクアドル、キューバ、メキシコの出身者に南米料理の作り方を教えてもらいながら交流。食事のあとは、料理に関する中南米クイズを楽しみました。

わたしの一歩！外国人市民と共に生きるまちをつくる

多文化共生のまちづくりの専門家を講師に迎え、講演、パネルディスカッション、グループセッションを行いました。地域に住む住民同士としてお互いを支えるために身近で何ができそうか、アイデア出しをしました。



日本語交流会

市内の外国人がスピーチやパフォーマンスで自己表現し、地域市民と交流しました。



子育ての違いなど質問できてよかった。

ベトナム語とフランス語での「いないいないばあ」の言い方がとても興味深かった。

料理で各国の講師の方々のおたたく素晴らしい人柄に触れることができ、お腹も心もいっぱいになった。

日本に住む外国人がどんなことに困っているのか、自分の気づいてなかったことが聞けた。

日本人として積極的に話しかけることがいちばん重要だと感じた。

外国人との交流、多文化共生について、お互いに声をかけていくことが大切であるのは間違いないが、その糸口を見いだすのが難しいと感じた。



日本語交流員講座

千葉市国際交流協会には、外国の人と1対1で交流する日本語交流員の制度があります。交流員の役割は、ことばの力の差に配慮しながら外国人市民と日本語で話すことです。講座では活動に必要な知識やスキルを理論と実習で提供しました。交流員活動にご興味のある方は協会までお問い合わせください。



新基本講座

対話型日本語活動に必要な知識とコミュニケーションスキルを3回の「基礎編」で、具体的な活動の素材や進め方を2回の「実践編」で、学びました。

改めて交流員としての自覚が持てた。

外国の方からいろいろ学べると思うとワクワクする。

東京オリンピック・パラリンピックで外国人と日本語で話そう

2020年を前に、外国語を使っておもてなしやボランティアをするための講座が増えています。でも、実は日本語でできる会話やサポートもたくさんあります。この講座では「やさしい日本語」コミュニケーションを学びました。

教えるのではなく同じ人間関係の中で、より良い理解を築くためというとても基本的で大切なことを教えてもらった。

名称が「ボランティア」から「日本語交流員」となったことの意味の大きさを感じた。

外国人と接する機会が楽しみ

普段は一単語で済むフレーズを外国人に向けて簡単な日本語でかつ簡潔に伝えるには、かなりの工夫が必要なんだなあ、と改めて実感した。



企業に対する日本語教育啓発

外国人を雇用している・雇用したいと考える企業を対象に、アンケートとインタビューによるニーズ調査を行いました。職場内での日本語コミュニケーション等の課題を把握することにより、今後、地域の企業および就労希望の外国人、双方へのサポートにつなげます。

外国人市民町内会活動参加推進

地域に住むすべての市民で防災・防犯などの取組を協働で進められるよう、多文化防災の必要性について町内自治会連絡協議会理事会や避難所運営委員会で説明しました。